

科目名		コミュニケーション実践Ⅰ			
担当教員		竹石 拓矢		実務授業の有無	×
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	52
授業概要、目的、授業の進め方	<p>対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。</p> <p>コミュニケーション検定初級合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>コミュニケーション検定初級合格ができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社サーティファイ コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く	P2-9			
2	傾聴・質問する	P10 -14			
3	目的を意識する、話を組み立てる	P15-22			
4	言葉を選び抜く	P23-29			
5	表現・伝達する	P30			
6	来客応対	P36-39			
7	電話応対	P40-43			
8	アポイントメント・訪問・挨拶	P44-48			
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション	P49-59			
10	接客・営業、クレーム対応	P60-71			
11	会議・取材・ヒアリング、面接	P72-82			
12	模擬問題	P84-99			
13	過去問題①	P100-115			
14	過去問題②	P116-131			
15	過去問題③	P132-148			
16	コミュニケーション検定				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>		<p>コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。</p>			
実務経験教員の経歴					

科目名		就職実務 I			
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	<p>毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。</p> <p>身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年（翌々年）の就職活動を意識する。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>就職活動の心構えと流れを知ることができる。</p> <p>自分と職業を理解することができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方		プリント		
2	インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
3	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
4	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個人作業		
5	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個人作業		
6	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個人作業		
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個別作業		
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個別作業		
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個別作業		
10	身だしなみセミナー、求職登録面接		女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける		
11	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		個人作業		
13	履歴書作成、志望動機作成①		個別作業		
14	履歴書作成、志望動機作成②		個別作業		
15	インターンシップ日誌の作成の仕方		個人作業		
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。</p>		
実務経験教員の経歴					

科目名	ビジネスマナー				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。</p> <p>また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	仕事に取り組む心構え		P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック		
2	報告・連絡・相談、会社の組織		P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング		
3	基本動作、言葉の遣い方		P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック		
4	受付の仕方、名刺の渡し方		P32-40 受付ロールプレイング		
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方		P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング		
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備		P49-56 お茶出しロールプレイング		
7	電話の受け方、伝言メモ		P55-69		
8	電話のかけ方		P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング		
9	慶事業務		プリント		
10	弔辞業務、お見舞い		プリント		
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い		プリント		
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方		プリント iPad (スマホ) でメール作成送信添削		
13	社外文書作成の仕方		プリント PC (iPad) で社外文書作成提出添削		
14	お礼状の作成の仕方		プリント 直筆でお礼状作成提出添削		
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。		
実務経験教員の経歴					

科目名	人と動物の関係学				
担当教員	山崎 恵子	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物の代弁者になることについて				
2	真の動物愛護とは				
3	ブリーディングの問題				
4	飼い主の責任				
5	動物の死とベットのロス				
6	シェルターワーク				
7	動物虐待				
8	災害時の動物				
9	犬のデイケア				
10	犬猫の行動学				
11	Tタッチ理論				
12	Tタッチ実践		特別講義		
13	動物愛護教育				
14	動物保護活動				
15	期末試験				
16	エコ・ツーリズム				
17	動物愛護法				
18	アニマル・エシックス（実験動物・産業動物）				
19	アニマル・エシックス（展示動物）				
20	アニマル・エシックス（補助犬）				
21	安楽死とベットのロス		特別講義		
22	動物愛護法と動物の福祉		特別講義		
23	期末試験				
24	動物との共生				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。			
実務経験教員の経歴	動物業界団体に長期に渡りかかわっている				

科目名	AAA実習				
担当教員	青木 和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会的側面から理解する。</p> <p>また、動物介在活動を安全に実施するにあたり必要な配慮やリスク管理を理解する。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	人と動物の調和に関わることを学ぶことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	人と動物の関係の歴史		パワポ資料		
2	人と動物の関係のなりたち		パワポ資料		
3	人と動物の絆について		パワポ資料		
4	動物が人に及ぼす影響について		パワポ資料		
5	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義		パワポ資料		
6	動物介在療法の事例紹介		パワポ資料		
7	動物介在活動の事例紹介		パワポ資料		
8	動物介在教育の事例紹介		パワポ資料		
9	参加動物の選別基準		パワポ資料		
10	参加動物に適した育成方法の選択		パワポ資料		
11	さまざまな人と動物の関係		パワポ資料		
12	AAIにおける人獣共通感染症のリスク		パワポ資料		
13	ストレスの把握とストレス管理		パワポ資料		
14	訪問活動に向けて		パワポ資料		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>科学的なエビデンスに基づいた人と動物の相互関係の理解。動物福祉を考慮した参加動物の選別とトレーニング法の選択を理解する。</p>		
実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院で現在も勤務中				

動物飼育実習Ⅰ					
科目名					
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	120
授業概要、目的、授業の進め方	<p>実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	個別別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法		教員が見本となる、実習室への見学		
2	消毒や手洗いの実施について、犬について（PD、テキスト）		理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い		
3	猫について（PD、テキスト）、管理帳の記入の仕方について		管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い		
4	小動物（ウサギ、モルモット、ハムスター）について		自作プリントを配布、小動物の触れ合い		
5	飼育室の見学（物の配置確認）、掃除の仕方、洗濯方法		先輩に指導を受ける、メモをとる		
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方		日誌を実際に書いてもらう		
7	実習前の総確認、小テスト		実習に必要な技術を見直す		
8	フィードバック		覚え直し		
9	（実習）犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
10	（実習）猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
11	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
12	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
13	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ		
14	（実習）犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
15	期末試験（筆記）		正しい知識を覚えているか		
16	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
17	（実習）犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
18	（実習）猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
19	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
20	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
21	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ		
22	（実習）犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
23	（実習）猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
24	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
25	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
26	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ		
27	（実習）犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ		
28	（実習）猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ		
29	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ		
30	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ		
31	期末試験（筆記）		正しい知識を覚えているか		
32	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。		
実務経験教員の経歴					

科目名		飼養管理士総論			
担当教員	山谷実生		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	5	時間数	72
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態・管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鳥類について 形態的特徴、飼養管理（インコ、オウム）		単元が終了した時点で必ず確認テストを実施		
2	鳥類について 飼養管理（フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト）				
3	鳥類について 繁殖、確認テスト				
4	からだの仕組み からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる				
5	からだの仕組み 老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達				
6	からだの仕組み 確認テスト				
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動				
8	愛玩動物飼養管理士とは				
9	愛玩動物飼養管理士について 確認テスト				
10	動物愛護論Ⅰ 海外と日本について				
11	動物愛護論Ⅰ 動物愛護運動について				
12	動物愛護論Ⅰ 確認テスト				
13	人と動物の関係学①				
14	人と動物の関係学②				
15	人と動物の関係学 確認テスト				
16	期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップにて勤務				

科目名	エキゾチックアニマルⅠ				
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。 販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩テキスト2巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ウサギ 飼養管理				
2	ハムスター 飼養管理				
3	モルモット 飼養管理				
4	フェレット 飼養管理				
5	チンチラ 飼養管理				
6	犬猫分類、歴史				
7	犬、猫の特徴				
8	犬猫と暮らす、環境				
9	犬猫のライフサイクル①				
10	犬猫のライフサイクル②				
11	犬猫の社会化				
12	しつけについて				
13	犬猫の毎日の生活 食事				
14	犬猫の発情、健康管理				
15	テスト+(解説)				
16	解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー 10年、独立サロン経営 18年				

科目名	動物関係法規				
担当教員	竹石 拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。</p> <p>愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>愛玩動物飼養管理士2級合格</p> <p>動物に関連する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようにする。</p> <p>法規範に基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<p>パワーポイント、レジュメ 愛玩動物飼養管理士2級第1巻</p>				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物関連法令を学ぶ意義、日本の法令体系		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
2	動物愛護管理法の概要と基本原則、飼い主の責任		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
3	動物の飼養・保管に関する基準		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
4	動物取扱業者①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
5	動物取扱業者の責務		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
6	動物取扱業者②、虐待と罰則、		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
7	特定動物、愛護管理法の普及啓発		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
8	動物愛護推進員と犬猫の収容		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
9	周辺的生活環境の保全		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
10	愛護法振り返りテスト		動物愛護法について振り返りテストの実施		
11	狂犬病予防法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
12	身体障害者補助犬法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
13	ペットフード安全法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
14	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
15	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。</p>		
実務経験教員の経歴	<p>ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務</p>				

科目名		解剖・生理学			
担当教員		山下 静香		実務授業の有無	○
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方		動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する 対面授業で実施			
学習目標 (到達目標)		<ul style="list-style-type: none"> ●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる ●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる 			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		緑書房 ビジュアルで学ぶ 動物看護学[第2版]、緑書房 ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学			
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要、体の基本構造について		伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア		動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野とらわれがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。		
実務経験教員の経歴		動物看護師として約4年勤務			

科目名							動物栄養学						
担当教員			川口 和清			実務授業の有無		○					
対象学科			動物飼育・ケア学科		対象学年		1		開講時期		後期		
必修・選択			必修		単位数		2		時間数		32		
授業概要、目的、授業の進め方			動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。 対面授業で実施。										
学習目標 (到達目標)			栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。										
テキスト・教材・参考図書・その他資料			(株) インターズ発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学										
回数	授業項目、内容							学習方法・準備学習・備考					
1	動物栄養学総論							テキスト、資料を使用					
2	基礎栄養学							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
3	基礎栄養素 水、タンパク質①							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
4	基礎栄養素 タンパク質②							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
7	イヌとネコの栄養要求の違い①							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
9	ライフステージ別の栄養管理②							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
10	ライフステージ別の栄養管理③							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
11	ライフステージ別の栄養管理④							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
12	ライフステージ別の栄養管理⑤							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
13	ペットフードの表示の見方① ペットフードの表示の見方②							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
14	BCS評価とカロリー計算の仕方① BCS評価とカロリー計算の仕方②							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
15	ペットフードの種類							小テストの実施、テキスト、資料を使用					
16	まとめ							まとめ					
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
評価方法・成績評価基準							履修上の注意						
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。						
実務経験教員の経歴							ペットフードメーカーにて企画開発・営業等に携わった						

科目名	動物看護概論Ⅰ				
	東海林 愛美	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での診療補助の概要を学び、生態を取り扱う業種において日常の健康チェックとケアの知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	動物の健康チェック項目、ケアの基本的な道具と方法について習得する。 動物病院での基礎的な知識を身に付け、病院に限らず、ショップ等の店舗はもちろん飼い主対応にも役立てられる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス発刊 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物病院業務について 動物を看護すること		パワーポイント資料		
2	動物の保定		パワーポイント資料、ぬいぐるみ		
3	身体検査とバイタルチェック		ぬいぐるみ、聴診器、体温計		
4	消毒		消毒液、雑巾		
5	シリンジの扱い方/投薬方法		シリンジ		
6	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着		ぬいぐるみ、投与薬		
7	デンタルケア		歯ブラシ、ガーゼ、ぬいぐるみ、歯科模型		
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院への就職も視野へ入れて幅広く知識を身につける		
実務経験教員の経歴	動物看護師として、動物病院にて13年間の実務経験あり				

科目名		グルーミング理論			
担当教員	箕輪穂乃香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。 グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック インターズー 最新犬種図鑑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて				
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①				
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方				
4	スタンダードの理解、体表の生理				
5	犬種について 1G、2G、3G		各グループの中の代表犬種について学ぶ		
6	犬種について 4G、5G、6G				
7	犬種について 7G、8G、9G、10G				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員歴 15年			

科目名		グルーミング実習			
担当教員	広川 美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、流れ、注意点について 道具の名称、使い方について				
2	グルーミングデモンストレーション		実際のグルーミングを見て、犬の扱い方を学ぶ		
3	グルーミング実習（実践）チワワ等				
4	グルーミング実習（実践）パグ等				
5	グルーミング実習（実践）ポメラニアン等				
6	グルーミング実習（実践）プードル等				
7	グルーミング実習（実践）シュナウザー等				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー 10年、独立サロン経営 18年				

しつけトレーニング実習					
科目名	しつけトレーニング実習				
担当教員	金子 真弓	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	104
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実技を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上で必要な事や必要な物を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	・犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？飼主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明				
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、パピーの給餌について、所有欲について、おもちゃで遊ぶことについて	テキスト使用			
3	・飼い主の手を良いものに学習させる ・"ピーナツバター療法"でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール×	テキスト使用			
4	・ケージ/クレートに関して(何故ケージが必要か?) ・オスワリ、フセ、タテをそれぞれの姿勢から誘導	実際の道具を見せる、トレーニングの方法をデモンストレーション			
5	・犬を家族として迎える前に準備するものは? ・名前を教える アイコンタクト 近くを歩く	実際の道具を一部見せる			
6	・犬を家族として迎える前に準備しておきたいことについて どんな犬?成犬or子犬orオスorメス 犬種など				
7	・ストレスについて 3つの"F"、カーミングシグナルについて ・実習:立ち方について(バランス良く立つ 犬側の肩に立ち方)	テキスト使用			
8	・犬の行動問題について:原因は?犬種の特性、身体的不快、先天的な要因、社会化不足などについて				
9	・学習理論:報酬はランダムにしてい、誘導から合図をつける ⇒ハンドシグナル				
10	・トイレットレーンについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マツテ、Tタッチ	DVD鑑賞			
11	・合図を教えるトレーニングについて				
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニングをほめる(モチベーションを促す方法)				
13	セトルダウン:飼い主の足元で大人しく落ち着く(フセの状態) で、マグネットトレーニング:誘導とは異なり、全てのトレ	足元でフセのトレーニングのデモンストレーション			
14	・ボディランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し 近くを歩く(人がボール役になり、8の字で歩く)	DVD鑑賞			
15	・古典的条件付け(拮抗条件付け、逆条件付け)、正の罰について罰とは?・嫌悪刺激				
16	・散歩の引っ張りについて(ジェントルリーダー、ハルティ、 イーゾウウォークハーネスについて)	実際の道具を見せてデモンストレーション			
17	・シェパードについて(人だけでクリッカーの練習)	トランプを使用して、人同士で練習			
18	・動画鑑賞:パピークラス、フリースタイルなど ・実習:クリッカートレーニング 犬がイスの上に前足を垂せ	モニターより動画観賞(実際の教室の様子など)			
19	・Tool Box:健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、 近接、顔面を取り除く 系統的脱感作 不要を取り除く	テキスト使用			
20	・Tool Box:両立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善 嫌悪刺激 Tool Boxを使って、問題を解決を考へる	テキスト使用			
21	・シェパード(クリッカートレーニング) ・人同士でクリッカートレーニング:クリッカー配布				
22	・シェパード②(クリッカートレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける)				
23	・シェパード③(クリッカートレーニング) ・人同士でクリッカートレーニング 犬にクリッカーでトレニ				
24	・シェパード④(クリッカートレーニング) ・人同士でクリッカートレーニング 犬にクリッカーでトレニ				
25	・シェパード⑤(クリッカートレーニング) ・人同士でクリッカートレーニング 犬のクリッカーでトレニ				
26	・シェパード⑥(クリッカートレーニング) ・人同士でクリッカートレーニング 犬のクリッカーでトレニ				
27	・犬の本能:食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用 食べ方が強い(痛い)犬のトレーニング おもちゃ遊				
28	・犬の本能:食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用 食べ方が強い(痛い)犬のトレーニング おもちゃ遊				
29	・古典的条件付け、拮抗条件付け、脱感作について				
30	・オペラント条件付けについて				
31	・呼び戻しについて				
32	・トリートランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年以上活動				

科目名	ドッグマネジメントⅠ				
担当教員	山谷 実生	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	健康管理や必要な道具、管理で注意すべきことなどを理解する。パワーポイントや資料配布で授業を進めていく。				
学習目標 (到達目標)	犬の管理に必要な知識を身に付け、それをアドバイスできるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他	プリント配布				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	・授業概要				
2	・GCTに関して				
3	・日々の健康チェックに関して				
4	・管理面でのチェックに関して				
5	・ケージに関して種類と組立				
6	・道具に関して①				
7	・道具に関して②				
8	・散歩に関して①				
9	・散歩に関して②				
10	・グループで犬を管理することとは？				
11	犬種プレゼンテーション（調べる）				
12	犬種プレゼンテーション（調べる）				
13	犬種プレゼンテーション（発表）				
14	まとめ				
15	期末試験実施				
16	試験解説				
17	実際の犬の管理について	新潟市動物ふれあいセンターにて実習			
18	実際の犬の管理と世話について	新潟市動物ふれあいセンターにて実習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
筆記試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名		ビジネス経営基礎			
担当教員	岡崎 康隆	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	声だしや挨拶など現場で必須のスキルを身に付け、経営の基礎を覚える。 主力商品のPOPをつくることで商品の理解と接客に必要な知識を身につける。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ペットショップ経営において必要な基礎知識と技術が習得できるようになる。				
テキスト・教材・ 参考図書・その他	プリント配布				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	店舗見学				
2	自己紹介シートを利用しながら発表形式で声だしをする。				
3	経営理念とは、使命とは				
4	店舗のオペレーション（売り上げとは、接客とは、1日の				
5	ペットショップの売り場（売り場構成、主力商品）				
6	ペットショップの販売と仕事の流れ（発注・管理、仕入				
7	商品陳列(実践) 陳列に必要なことを覚える(タグ・順序な				
8	ホテルについて（ホテルのコース、リスクマネジメント）				
9	商品POPは何か、作成時のコツを学ぶ				
10	販売実習(商品) お気に入りの商品で販売のロープレをし				
11	ペットショップでの生体管理犬について				
12	生体販売のアフターケアについて				
13	販売実習(生体) 人形を使用し生体販売のロープレをす				
14	ペットとの同行避難				
15	期末試験				
16	まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	動物看護師として8年間、動物病院に勤務していた				

科目名		SNS実習Ⅰ			
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育・ケア学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	SNSや動画投稿サイトを利用し、情報発信や人を引き付けるコンテンツの作成を学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	自身で動画やブログを作成し、投稿ができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	SNSとは		SNSの種類について		
2	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトのアカウント作成		
3	動画投稿サイトのしくみ		動画投稿サイトへの投稿の仕方		
4	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
5	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
6	動画編集について		動画編集ソフトの使い方		
7	動画編集について		簡単な動画作成		
8	動画編集について		簡単な動画作成		
9	動画作成		他授業で撮影した写真をつなげて動画をつくる		
10	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
11	動画作成		他学科の活動取材しに行く		
12	動画作成		撮影した動画を編集し投稿する		
13	動画作成		他学科の活動取材しに行く		
14	アンケートフォーム作成		アンケートフォームを作成する		
15	前期期末課題作成		前期の授業をまとめた動画を作成する		
16	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
17	ブログ作成について		ブログ作成を学ぶ		
18	ブログ作成について		ブログ作成を学ぶ		
19	取材		他学科の活動取材しに行く		
20	ブログ作成について		取材内容をブログとしてまとめて投稿する		
21	取材		他学科の活動取材しに行く		
22	ブログ投稿		ブログを編集し投稿する		
23	後期期末課題作成		後期の授業をまとめたブログと動画を作成する		
24	振り返り		期末課題を確認しフォームを使用して投票をする		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップスタッフ(観賞魚・爬虫類エリア)4年間勤務				